



2022-2023 Shari Rotary Club Bulletin

- 会長：元木 誠二 ● 副会長：村田 均、高木 壽一 ● 幹事：森田 拓巳
- 創立：1963年10月5日 ● 例会日時：毎週水曜日 12:00～13:00
- 事務所：〒099-4112 斜里郡斜里町港町1 ● 例会場：ホテルグランティア知床斜里駅前
TEL(0152)26-7978 FAX(0152)26-7980 〒099-4112 斜里郡斜里町港町16-10
TEL(0152)22-1700
- 斜里 RC 事務局メールアドレス sharirotary@peach.plala.or.jp

第2885回例会 2022年11月30日(水)

発行：会報・広報・雑誌委員会

点鐘：元木 誠二 会長

司会：三浦 詔男 副 SAA

1. ゲストおよびビジター紹介 ～なし

2. ローターリーソング ～それこそローターリー

3. 会長の時間 ～元木会長

皆さま、こんにちは

昨日、親睦委員会が開催され、私も参加させていただきました。委員会終了後は会員の皆さんとともに楽しい時間を過ごさせていただきました。

中田委員長によると、12月に行われる「年末家族親睦パーティー」への家族の参加がとても少ない状況だそうです。

小さいお子さんがもういない会員も多いのも事実ですが、あまりにも家族の参加人数が少なければ、会員の家族に感謝するための家族親睦パーティーの開催を通常の夜間例会としての位置づけとして開催するなど、今後は根本から見直さなければならぬかもしれません。

だから、無理をして家族を連れてきてください、という話ではありません。つまり、会員ではなく家族が参加したい、という例会に今後共したいとの意見が昨日出たことを皆さんへ私からお伝えいたします。

現在、サッカーワールドカップが開催されています。

日本代表は皆さんもご存知の通り、1勝1敗で次戦の12月2日に行われるスペイン戦での勝敗で予選リーグ突破が決まるようです。

私も札幌ドームへ今年、遠藤会員と中田会員と一緒に日本代表戦を観戦してきたこともあり、にわかですがサッカーファンとしてとても楽しみながら観戦しております。

先週、藤沢ローターアクトクラブ出身の青山さんとバナー交換と夕食をご一緒させていただきました。

青山さんは、当クラブ第5代会長、故狩野 力会員と遠い親族にあたるようで、自分のルーツを知るために斜里町へ来られた様子でした。

青山氏は、財務省に勤務している41歳の男性の方で、休みをとって鹿打ちもしに斜里町へ来たそうです。とても精悍な顔立ちで、話す内容も楽しく、いかにもエリート官僚といった感じでありました。

バナー交換、食事の際は、三浦会員と日下会員にも同席していたき、狩野会員のお話しをしていただきました。ありがとうございます。

過去の資料を見ると、狩野会員は昭和42～43年、第5代会長として斜里ローターリークラブの基礎を作った人物と同時に内科医として斜里町の福祉、または地域発展のために多大なリーダーシップを発揮され、尽力された人物とお聞きしております。

ローターリーがきっかけで青山様も斜里町で私たちと親睦を深めることが出来たし、参加した私も斜里



ロータリークラブの歴史を知ることが出来たと同時にロータリークラブに入会していなければこのような経験もすることはなかったでしょう。

その当時に詳しい会員として三浦会員、さらに狩野会員と親交があった日下会員をお誘いした上で懇親会を行いました。

後ほど、この二人の会員からの卓話も本日は予定しております。私とはまた違った感想が聞けると思っていますので皆さま楽しみにしてください。

本日も皆さんの貴重なお時間を使って有意義な例会としましょう。

4. 幹事報告 ～森田幹事

- ・斜里町民生児童委員協議会より広報誌が届いております。(回覧)
- ・ロータリーメルボルン国際大会の申し込み要領が届いております。参加希望者は幹事までご相談ください。(回覧)

5. 委員会、その他の報告 ～元木会長

- ・中田 親睦活動委員長～まず、「年末家族親睦パーティー」の案内が遅れましたことをお詫びいたします。ご家族も楽しめるゲームも用意しておりますので、ご家族揃っての参加をお待ちしております。
- ・武藤 職業・社会奉仕委員長～会員の皆さまには「チャリティーオークション」の商品をたくさん提供していただきありがとうございます。後ほど、オークションの「画像付きの商品リスト」と「入札書」をメールで配信させていただきます。お手数ですが「入札書」は12/6までにメールかFAXで返信していただきますようよろしくお願いいたします。
- ・下山会員～この度、「厚生労働大臣表彰」を受賞しました。ジャンルは「年金委員功労」です。年金問題で解体された、旧社会保険庁が所管していた政府管掌健康保険と厚生年金などの職場における活動と社会保険委員会という全国組織における活動が評価されたものです。私は、北見社会保険委員会という350社(現在)ほどに所属し、役員歴は、H16～理事、H20～副会長、R2～会長をしており現在に至っております。
- ・森田幹事～武藤会員の長女の方がご結婚されたとのことですので、当クラブ慶弔規約によりお祝いをお贈りさせていただきます。



6. 本日のプログラム ～元木会長

◆斜里 RC 名誉会員 狩野 力さんについて語る

◇日下会員

先日、森田幹事より電話があり、小田原城北 RAC の元会長で狩野先生のご親族である青山 団さんという方が来斜され、バナー交換をされるということで同席し会食をしました。

青山さんは、狩野先生のお姉様の娘さんの甥御様で、親しくしている先生の長女の満里さんに何うと、「いとこ」とのことでした。

狩野先生は、池田町の池本家の次男としてお生まれになりました。先代の狩野 太人先生と池本家が親しくなり、その縁で力(つとむ)先生を斜里で預かり、網走南ヶ丘へ通学し、卒業の後狩野家の養子となりました。

高校卒業後、フランスのナンシー大学に留学、医師となり満州のハルピン大学病院に勤務されました。

やがて、戦争になり戦時中はロシアの収容所生活となり、そこで日本人向けの共産主義の講義を担当する傍ら医師として従事されていたそうです。

戦後、斜里へ戻り外山病院の開業医として奥様の静子様と共に働き、2男2女を授かりました。



狩野先生は、町医者として文字通り「赤ひげ」の現代版のようにお金の代わりに野菜を受け取り、医師活動をされました。

また、特筆すべきは、フランス留学をされておりましたので、毎週フランスから「ル・モンド紙」を取り寄せ、また一方ではロシア収容所での教育係をされていたことで、日本共産党から「赤旗」が送られ、購読されていました。

医療に関しては、当時医療事務をされていたロータリアンの神谷さんから伺ったことですが、患者さんを第一に考え、高価な抗生物質を投与され、カルテには普通役と表示し、患者さんの負担を軽減しながら治療される方でした。いつも最新の薬を研究し、患者さんに尽くされ、儲かる医師ではありませんでした。

ロータリーを中心に多大な社会貢献をされ、他方患者さんや多くの町民の方々には、持ち前の博識で多種多様なお話をされ、「知識の伝道者」の一面もある方でした。強いて言えば、話の長いのがマイナス面かも。

しかしながら、話の内容はいつも原則論と物事の歴史を背景とした事の由来から話され、その内容は機知に富みながらのご高説というものでした。

平成3年から病が重くなり、東京の白金台に居住されながら慶応病院の入退院を重ねながら、平成6年に84歳の命を閉じられました。

人を思い出すときは、当たり前のように明るい笑顔でその人が出てくるものです。

「オニイ」元気かと声をかけてくれるような、そんな姿が思い浮かべられます。

私事ですが、私の二人の娘も先生にお世話になりましたが、愛称は「ポンポンじいちゃん」でした。その由来は、診察の時、胸をポンポンとたたく診察動作からきています。

多くの事柄が思い出され、懐かしさと偉大な方だと思いつくづき思いながら話を終わらせていただきます。

◆三浦会員

名誉会員 狩野 力先生は、斜里 RC の「産みの親」であり「育ての親」と言えると思います。まさに「レジェンド」であります。

狩野先生が残された功績は、枚挙にいとまがないのですが、何と言っても清里 RC を誕生させたことです。「清里に RC を」と行動を起こしたところ時を同じくして網走 LC が「清里にライオンズを」と動いていて、このままでは混乱が深まる、と両クラブから各 8 名の代表者で話し合いが持たれました。

結論は出ませんでした、「RC の結成止むなし」との暗黙の了解の感触を得たそうです。

その後、秋山ガバナーは、清里 RC 設立のため斜里 RC をスポンサークラブに、狩野 力先生を特別代表に指名され、狩野先生を先頭にクラブ一丸となって連日清里に向いて家庭訪問や説明会に奔走し、ついに清里 RC 創立の大事業を成し遂げました。

斜里ローターアクトクラブの結成に際しても、当時の日下 末雄会長と共に幾多の苦難を乗り越えて地区内 3 番目の「斜里 RAC」を設立させました。

狩野先生は、ロータリー会員には、ロータリーをもっと勉強しろ、と厳しかったのですがアクトや他の青少年団体、定時制高校生には非常に優しくなりました。

私の会長年度の平成 3 年に、健康上のこともあり斜里を転出されましたが、狩野先生への感謝を含めた送別例会には、斜里クラブはもとより清里クラブからも全会員が参加して感動的な送別会となりました。

忘れられないのは、3 年後の丹羽会長の時、4 月末の夜間例会の席で、日下 末雄会員から「どうも狩野先生の容態が思わしくないようだ」と告げられ、例会終了後、丹羽会長と私の事務所で「万一の時のために“クラブからの弔辞を用意しなければ、と酒の酔いも冷めてしまい、古い資料や参考文献を調べ、未明までかかって原文を走り書きし、早朝からそれを整理したものを日下会員に確認いただくため持参したら、「狩野先生、昨日亡くなった」と聞かされ、ショックと共に何とか間に合ったと胸をなでおろしたものです。

「影のガバナー」「ミスター・ロータリー」と云われ、地区内からも畏敬の念をもって称えられた狩野先生のロータリー精神は、今も斜里クラブに「狩野イズム」として引き継がれていると思います。

創立 60 周年を目の前にして、改めて偉大な先輩の一端に触れたことは意義のあることだと思います。



◆財団セミナー参加報告

◆浦田 国際奉仕・ロータリー財団委員長

11月27日(日)旭川で開催されました「ロータリー財団補助金管理セミナー」に参加して参りました。

《地区補助金とは》

ロータリー財団は、「世界で良いことをしよう」というスローガンを掲げ、ロータリアンの地域や世界で、その活動を支えるために支給している補助金の一つです。

《地区補助金の概要》

ロータリー財団の使命は、ロータリー会員が、人々の健康状態を改善し、質の高い教育を提供し、環境保全に取り組み、貧困をなくすことを通じて世界理解、親善、平和を構築できるよう支援することです。

《補助金を申請するには》

11月：地区開催「補助金管理セミナー」にクラブより1名以上出席

3月末日まで：「MOU」の提出 「提出先：実施年度G補佐」

4月末日まで：事業計画書の提出 「提出先：実施年度G補佐」
《実施年度ガバナー補佐による事業審査》

5月末日まで：事業計画書の承認提出 実施年度ガバナー補佐 ⇒ 実施年度地区事務所

6月中旬まで：地区補助金チームによる事業審査

6月下旬ころ：実施年度ガバナー、同ガバナーエレクト、ロータリー財団委員長による事業承認
日本財団へのオンライン申請

8月下旬ころ：ロータリー財団本部の承認並びに地区への補助金振込（承認時のロータリーレートにて\$換算での振込）クラブへの日本円での振り込み



各クラブ等での事業実施 承認前の事業実施は認められません)

6月末日まで：事業報告書の提出 「提出先：実施年度地区事務所」

《事業の種類》

「奉仕事業」と「寄贈事業」があり、それぞれ規制事項がありますので注意が必要です。

7. ニコニコ B O X

～中田 親睦活動委員長

- ・下山会員～厚生労働大臣表彰を受けて

11/28 富良野の松田英郎 PG に

IMの基調講演をお願いに行って来ました

8. 出席報告

～今井 出席・プログラム副委員長

- ・本日出席～33名中22名出席（出席率：66.6%）

☆ 幹事より次回例会の案内

- ・次回は12/7(水)第2886回例会～産業会館2F
年次総会、ゲスト卓話



2022-2023 国際ロータリーのテーマ

イマジンロータリー

斜里 RC 会長のテーマ

自分にとってのロータリーの
魅力を発見しよう